



愛南町 いやし の 郷
トライアスロン大会
AINANO TOWN IYASHI NO KYO TRIATHLON TAICAI

感動をありがとう

～ボランティアスタッフが支えた鉄人たちの熱い戦い～



スイム



バイク



ラン

レースはスイム 1.5km、バイク 40km、ラン10km の合計 51.5km のコースで行われました。

出場したトライアスリートは、時折苦しそうな表情を浮かべながらも、愛南町の豊かな自然の中を疾走しました。



6月29日(土)、西海地域の船越漁港周辺や旧西海有料道路などを舞台に「第2回愛南町いやし の郷トライアスロン大会」が開催され、24の都府県から294選手が参加してアップダウンの激しい難コースに挑みました。

第2回大会は、昨年を上回る約950人のボランティアスタッフ、沿道での地元住民の方々の声援が出場選手を支え、大いに盛り上がりました。

大会を終えた出場選手の声とともに、選手と応援やスタッフなど地元住民が一体となった熱い大会を振り返ります。

大会を終えて 出場選手の声

得能計子さん (松山市)



昨年、本大会に出場したとき、大好きなハワイに似て癒しのある空気を感じ、今年も参加しました。心に残っていたボランティアの皆さんの励ましの声は今年さらに強くなっていました。

名前で呼んでくれてうれしかったです。ちびっこのもみじの手のハイタッチ。学生さんたちの絶叫に応えると、かわいい歓声が変わるところ。交通規制で封鎖されていて、一日商売にならないはずなのにそれでも水をかけて労ってくれるお店の人たち。ランの最初の激坂で、私を後押ししてくれる応援。バイクのコースでポンポン持ったかわいい応援。大きく日の丸を振ってくれたおじいさん、おばあさん。

お家のシャワーを貸してくださいました。道に迷わないように何度も案内に来てくれました。お風呂あがりにはリビングでスポーツドリンクをいただきました。競技前には自転車の点検をしてもらいました。メカニックに不慣れな私には、どんなに心強かったですか！

私の完走は、こんなにもたくさんの方々の厚意によって支えられました。今もありがたくて幸せな気持ち。

「また来年も来てね」と言われました。トレーナーングして、またここに帰って来たいです。本当はもっと感謝を伝えたい。私は、愛南町のファンになってしまった!!

伊須由香さん (砥部町)



昨年の大会が、とても良い大会だったとの噂を聞いて、今年初参加！噂どおりのすばらしい大会でした。特に、応援には感動しました。住民の方々には名前で応援してもらい、地元の小・中学生の元気いっばいの声にはパワーをもらいました。

「また来年も来ますね」。シャワーをお借りしたお宅でも言いましたが、改めて。『また来年も愛南に来るね!!』ボランティアの皆さん、愛南町の皆さんありがとうございました。

織田晃さん (愛南町)



地元開催の愛南町いやしの郷トライアスロン大会が、自身初挑戦のレースということで不安いっぱいでした。しかし、競技が始まると地域の方々、学生、スタッフの皆さんからの熱い声援のおかげで、きついコースでしたが、思いっきりレースを楽しむことができました。

来年も、地元選手の一人として、少しでも上位に入れるように練習を頑張りたいと思います。

この場をお借りして・・・ボランティアスタッフや応援の皆さん、本当にありがとうございました。こんなにすばらしい大会を成功させる愛南町の住民であることを誇りに思います。

松澤正仁さん (宇和島市)



私は、福浦小学校に平成23年度まで勤めていました。出場する前に、福浦小の女の子から「ボランティアで参加するので、ぜひおいでください」と手紙をもらいました。「喜んで」と返事を書きました。

大会当日のスイムが始まる前、どこからか私を呼び声が。振り返ると福浦小の子どもたちでした。子どもたちは私が完走するまで、あちこちで応援してくれました。完走したことよりも子どもたちの心遣いがうれしい一日となりました。

大会スタッフの皆さん、大変お世話になりました。本当にすばらしい大会でした。

富澤裕行さん (香川県)



初めてトライアスロンに挑戦しましたが、大勢のスタッフの方々のご尽力により、円滑に競技を進めることができました。

時には名前を呼んで応援していたりなど、地元の方々の温かい声援はとても励みになりました。この美しい景観・自然の中で競技ができたことをうれしく思います。来年、第3回大会が開催されることを望みます。

皆さん、ありがとうございました。

川原靖代さん (香川県)



トライアスロンを始めて15年以上になります。こんなに応援のすごい大会は初めてでした。めちゃくちゃ感動しました！おかげさまで、バイクやランコースのきつい坂もくじけることなく登りきることができ、無事ゴールできました！

いっぱい名前を呼んでくれてありがとうございます！メダルをかけてくれてありがとうございます！応援してくれた皆さん本当にありがとうございました。



完走者には、船越小学校児童から手作りのメダルが贈られました。

Coca-Cola
42
愛南町愛南町の郷土サイクリング大会
小嶋倫子さん (神奈川県)



はるばる神奈川県から念願のトライアスロン大会に初参加した64歳です。スイムが終わり、バイクの3周目終了時に、15分オーバーで失格を言い渡され残念でした。

長い坂は初体験でしたが、景観がすばらしかったです。沿道の地元の方々の応援もとてもうれしかったです。翌朝は、宿泊した「とらや旅館」の前の海で魚たちと遊び、愛南町を満喫できました。愛南町の皆さん、ありがとうございました。

Coca-Cola
204
愛南町愛南町の郷土サイクリング大会
片山善友さん (広島県)



タフなコースで何度も心が折れそうになりました。しかし、途切れることない沿道の声援に背中を押してもらい、ゴールすることができました。感動をありがとうございます。

Coca-Cola
255
愛南町愛南町の郷土サイクリング大会
白石敦さん (松山市)



2年続けて参加させていただきました。町民、スタッフの皆さんの温かさが伝わってくる、楽しく元気がもらえる大会だと思います。本当にありがとうございました。

Coca-Cola
6
愛南町愛南町の郷土サイクリング大会
中村あゆ子さん (香川県)



べたカツオの中で一番おいしかったです。次は、家族みんなで来たいです。

かなり厳しいコースでしたが、スタッフ、ボランティア、応援の方々、皆さんがとても温かく、笑顔でゴールすることができました。レース後のパーティーで食べた新鮮なカツオは、今まで食



大会終了後、ホテルサンパールでアワードパーティーが開かれました。レースを終えた選手の皆さんは、カツオのタタキや鯛そうめんなど愛南町自慢の郷土料理を囲み、疲れを癒しました。会場でさばかれた新鮮なカツオの刺身も大人気でした。

絶え
ない
笑顔

途切
れる
こと
のない
声援

● 選手の皆さんからは、「来年もぜひ参加したい」という言葉を多くいただきました。

● 選手の皆さん、ボランティアスタッフや応援してくださった皆さん、お疲れ様でした。

● また来年、この会場でお会いしましょう。

愛南町いよしのトライアスロン大会
AINANCHŌ IYASHINORATO TRIATHLON SINCE 2012



総合優勝の平松選手

【大会結果は次のとおり

(男女総合 上位3位までを掲載)】

※大会結果の詳細は、大会ホームページ
(<http://ainantriathlon.jp/>) をご覧ください。

【男子】

- 1位 平松幸紘 (松山市) 2時間1分57秒
- 2位 小林歩 (広島県) 2時間5分36秒
- 3位 高橋泰夫 (岡山県) 2時間9分28秒

【女子】

- 1位 崎本智子 (松山市) 2時間13分08秒
- 2位 細川江梨子 (松山市) 2時間18分44秒
- 3位 川島えり (松山市) 2時間24分49秒